

島根県高等学校体育連盟

大会運営における感染予防の具体策

【バドミントン専門部】（選手権大会）

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された場合、あるいは体調不良や発熱等の症状がある場合は参加はみあわせる。

2. 移動について

- 大会参加者は、移動の際可能な限り周囲との間隔を空けること。併せて、可能な限り換気に努める。

3. 感染予防のための基本行動

- 体調管理とその報告
- マスクの着用奨励
- 人と人との距離を確保
- こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- ロビー等での集合が各団体、一緒にならないようにする。
- 開会式は、選手はフロアに集合せず、応援席に座って放送を聞く。

(2) 入館時の感染予防対策

- 入館時間は担当校は7：00、他の学校は7：30
すみやかに列になって入館する。
- 玄関で手指消毒を行う。

(3) 待機中の予防対策

- こまめな手洗い、手指消毒を行う。
- タオルの共用はしない。
- 出たごみは各自が持ち帰る。
- 応援は指定した席で行う（移動しての応援は認めない）。

(4) 試合中の感染予防対策

- 試合のコールがあれば、すみやかに指定されたコートに入る。
- バッグ等をコートサイドに持参し、ドリンクやタオル等を収納する。
- 試合前後の握手はせず、一礼する。
- シャトル交換は、主審の許可を受けた後、ポール付近に置いたシャトルを選手が取り、使用済みシャトルは専用かごに入れる。

(5) 試合後の感染予防対策

- 審判終了後、すみやかに観覧席の自席に戻る。。
- ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。
- 参加者などに感染者が発生した場合には連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。

2. 観客に対する感染予防対策

- 選手と同様に対策をお願いします。自校の応援席付近か、本部上の席を利用する。